

6/26

## 大地の恵み じゃがいも収穫体験会

市内にある茨城県北ジオパーク構想農園にて、茨城県北ジオパーク推進協議会主催のじゃがいも収穫体験会が開催されました。15組の親子連れなどが参加しましたが、新型コロナウイルス感染症予防のため、畑の中で区切られたそれぞれのスペースで収穫体験を実施しました。

当日は快晴の中、子供も大人もじゃがいも掘りに熱中し、箱いっぱいのじゃがいもを収穫していました。収穫体験のあとは、主催者が用意した「じゃがバター」が振る舞われ、参加者は大地の恵みのじゃがいもを満腹になるまで味わいました。



▲収穫を楽しみました！

7/4

## 一斉クリーン作戦実施

市内道路の一斉クリーン作戦が実施されました。ごみのない清潔で住みよいまちづくりをめざして、各地区の環境保全推進委員長（副区長）を中心に、約9,000人の地域住民の方々が国道・県道・市道などの空き缶やペットボトル、紙くずなどのごみを回収しました。

地域の方々のご協力のもと、可燃ごみ約3,500kg、不燃ごみ約1,800kgが回収されました。



▲大変お疲れさまでした

7/10

## 避難力強化訓練を実施しました

迅速かつ的確な避難行動の普及啓発や避難所での新型コロナウイルス感染症対策の確認などを目的に、茨城県と共同で、久慈川及び那珂川の洪水を想定した避難力強化訓練を行いました。

今回の訓練は、コロナ禍のため訓練参加者を制限して実施しましたが、久慈川及び那珂川流域の4箇所の指定避難所、1箇所の福祉避難所、3箇所の自主避難所（辰ノ口・小場・小貫）を開設するとともに、1箇所の社会福祉施設（フロイデ総合在宅サポートセンター山方）及び各地区において、避難情報の伝達や、自主防災会と消防団の共同による避難呼びかけ、住民避難訓練等を実施しました。避難訓練終了後は、防災講習会や避難生活の一部体験などを行い、好評の声を多く聞くことができました。

今後も、このような住民参加型の防災訓練を実施していきます。



▲東部コミュニティセンターの避難受付の様子



▲小場自主避難所の避難受付の様子

7/7

## 塩分チャージタブレット 寄贈

カバヤ食品株式会社より、子供たちの熱中症対策に役立ててほしいと汗とともに失われる塩分をすばやく摂取できる塩分チャージタブレット（清涼菓子）4,800袋が昨年度に引き続き、今年度も寄贈されました。

市内の小・中学校、スポーツ少年団や各種団体の活動における熱中症対策に有効活用していきます。



▲（中央左から）菊池 仁工場長・中野 稔之課長

7/11

## 常陸大宮大使小林正寿さんのお天気トークショー

日本テレビ「ZIP!」のお天気キャスターとして活躍中の小林 正寿さん（常陸大宮大使）のお天気トークショーが市文化センターで開催されました。

トークショーでは、天気についての疑問や気象予報士の1日、小林キャスターへの質問コーナーなど、盛りだくさんの内容でした。



▲「ZIP!」でお馴染みの小林 正寿キャスター

7/13

## 上下水道事業経営基盤強化に向けた 支援協定を締結しました

横浜ウォーター株式会社（横浜市水道局100%出資団体）と「上下水道事業経営基盤強化に向けた支援協定」を締結しました。

本協定に基づき、協働の取り組みを推進し、上下水道事業の経営基盤の強化と、安心安全な水の安定供給に努めていきます。



▲（右）鈴木 慎哉代表取締役

7/15

## 消毒用アルコール寄贈

新型コロナウイルス感染症の感染抑制に役立ててほしいと菊池開発株式会社より、消毒用アルコール200本が寄贈されました。

市内の小中学校をはじめ公共施設等で、有効活用していきます。



▲（中央）菊池 博文代表取締役・（右）菊池 崇文専務取締役

7/17

## 子育てママワークショップ 開催

市では、子育て中の女性をメインターゲットに、定住促進・転出抑制に向けた取り組みを進めております。

この度、市内在住のママを対象に、「子育てしやすいまちってどんなまち？」をテーマとして、アイデア提案等を行うママ限定のワークショップを開催しました。

ワークショップの詳しい内容については、次号の広報常陸大宮でお知らせします。



▲18名の方が参加しました

7/27

## 常陸大宮リトルリーグ 表敬訪問

常陸大宮リトルリーグ（小学生硬式野球チーム）が青森県で開催される全国大会出場を前に、鈴木定幸市長を表敬訪問しました。

子供たち一人ひとりが大会に向けての意気込みを述べ、鈴木市長から激励の言葉が送られました。

大会は7月31日に開催され、埼玉県との試合で取れたものの、チーム一丸となり最後まで戦い抜きました。



▲常陸大宮リトルリーグの皆さん

8/10

## 市議会より要望書提出

常陸大宮市議会より「新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望」が市へ提出されました。

主な内容は、未接種世代のワクチン接種の早期実施体制の整備、市民へのワクチン接種に関する正確で迅速な情報提供などです。

▶(中央)小森 敬太郎議長・(右)黒部 博英副議長



## 【みんなで応援しよう！東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会】 パラオ共和国選手団が東京オリンピックに出場しました！

本年7月23日より開催された東京2020オリンピック競技大会に、本市のホストタウンであるパラオ共和国から3名（競泳2名、陸上1名）の選手が出場しました。3名は、2018年に本市において実施した事前キャンプに参加しており、陸上の男子100m 予備予選に出場したエイドリアン・イリラウ選手（写真向かって左端）は、初めてとなるオリンピック出場で自己ベストを更新しました。

また、大会前には、本市のホストタウン交流などに携わるボランティア「パラオ ブルーサポーター」が中心となり作製した応援動画を送り、選手団にエールを届けました。応援動画は市公式YouTubeチャンネル（右記QRコード）に掲載していますので、ぜひご覧ください。

本市では、東京2020大会後もパラオ共和国との交流を継続していきますので、引き続き、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いします。



▲東京オリンピックに出場したパラオの選手  
（画像提供：パラオオリンピック委員会）



▲パラオ選手団へ向けた応援動画